

## 編集後記

未曾有の大震災と原子力施設の重大災害より5回目の春が巡って来ました。復旧・復興への道筋はまだまだ道半ばですが、各被災地においては市民の力を結集し、新たなステージに入ってきた状況と感じています。熱測定学会会員や読者の皆様におかれては、それぞれのお立場から復旧・復興に貢献され、あるいは見守っておられることと存じませぬ。

今号では、広島大学 大前英司先生より「酵素の構造安定性と機能におけるキャビティーと水和の役割ー深海微生物由来酵素からの知見ー」、分子科学研究所 黒井邦巧先生より「圧力印加過渡回折格子法による反応中のタンパク質圧縮率の時間分解計測」、物質・材料研究機構 鈴木芳治先生より「水のポリアモルフィズムからみた低濃度水溶液ガラスの溶媒状態」、東京電機大学 小田垣孝先生より「ガラス転移の自由エネルギーランドスケープ理論と構造エントロピー」と題した原稿を頂戴しました。年度末のご多忙な折にも関わらず快くご執筆いただいたことに深く感謝するとともに、貴重な解説を十分読み解き、会員の皆様がそれぞれのお仕事に展開、反映できますよう願っております。

さて、安全、環境、エネルギー、防災といった地球規模の課題に対しては、個別要素技術の進化だけでは対応できず、要素技術を統合した総合科学として対応する必要があります。さらに、自然現象、人工システムを問わず、巨大なエネルギー発生やその影響については、そのメカニズムを的確に把握、解析し、可能な限り制御することが求められることから、熱エネルギーの視点から基盤技術を展開する熱測定の活躍する場面であり、当学会の果たす役割と期待は大きいものと信じて疑いません。会員皆様のご健勝と益々のご活躍によって安全安心社会の構築につながることを編集担当一同、祈念しております。  
(横浜国立大学 三宅 淳巳)

## 【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

## 2016 年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 藤代 史

(編集委員) 池内 賢朗, 神山 匡, 戸田 昭彦, 西本 右子, 菱田 真史, 三宅 淳巳, 米持 悦生

(拡大編集委員) 伊豆津 健一, 木村 二三夫, 中澤 康浩, 丹羽 栄貴, 林 英子, 山崎 淳司

熱測定 Vol.43, No.2, 2016

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物 (学術刊行物) 認可

平成 28 年 4 月 20 日 印刷

平成 28 年 4 月 25 日 発行

発行人 日本熱測定学会 城所 俊一

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601  
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303